



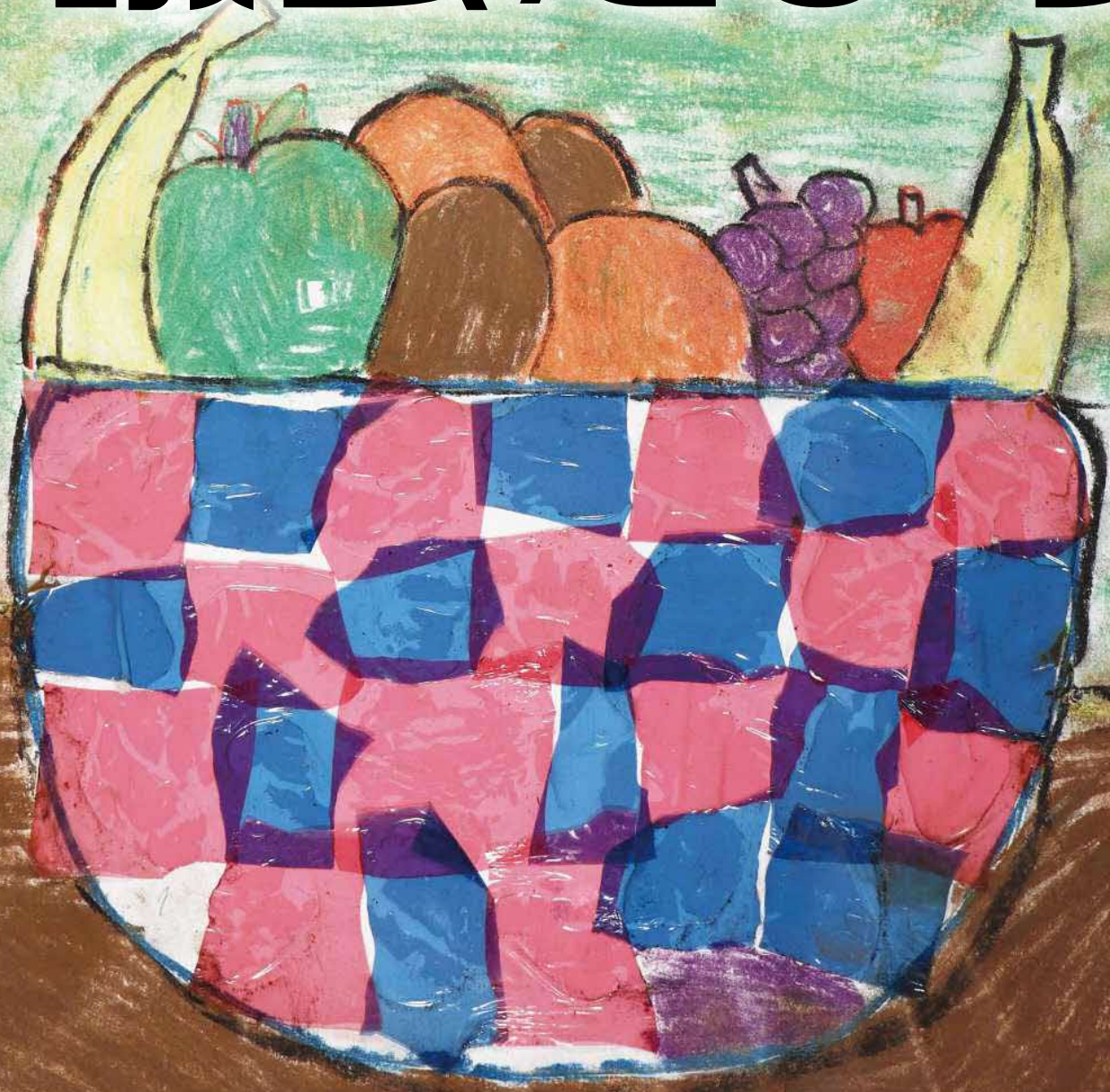
みなさんの暮らしと
つながっています。

Vol.74

令和6年(2024年)

9月1日発行

はまた 議会だより





6月定例会議

今回はこれがポイント！

総額9億1,813万円の補正予算を可決

6月定例会議では、市長提出議案12件、議会提出議案1件、請願4件（うち1件は3月からの継続）について審議しました。

地方自治法により議会に付議される事件として、工事請負契約の締結については「市道日脚治和線（周布橋）橋梁上部工事」を、「新たに生じた土地の確認」では原井町の公有水面埋立地を審議しました。令和6年度浜田市一般会計補正予算（第2号）では、「低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業 5億2,120万6千円」「水道未普及地域において小規模水道施設（共同施設）から個別の飲用井戸に切り替えを行う者に対する支援 5,040万円」「道路・学校施設等の緊急的な修繕等に伴う事業費 1億4,800万円」「浜田駅周辺エリア賑わい創出に向けた現状分析及び調査に係る事業費 370万7千円」が計上され、全ての議案を全会一致で可決しました。また、一般質問では、5月に開催した地域井戸端会で市民の皆さんから伺った内容を質問する場面もありました。

トピックス

生活環境や学校など 公共施設長寿命化へ補正予算

市道・農林道・学校施設などにおいて、地域や学校から要望を受けている箇所や修繕の必要性はあるが例年の突発修繕経費では対応しきれない箇所があり、早急な対応が求められています。そこで、施設の修繕などを行い生活環境の向上を図るため、新規事業「道路・学校施設等の緊急的な修繕等に伴う調整」が、令和6年度と7年度の複数年事業として補正予算に計上されました。

総事業費は2億9,600万円です。令和6年度と7年度とも1億4,800万円となり、住民生活に密着した施設（農道・林道維持修繕、公共土木施設整備、ふるさとかいてき道整備、河川浚渫、教育環境整備）の事業が緊急的・集中的に行われます。

問 緊急的な修繕とのことですが、その理由は何ですか？

答 道路修繕などに関して、地域協議会などでの市民のご意見に對してきめ細やかに対応する必要があります。通学路の区画線劣化などの意見にも対応するため平時と異なる措置を緊急的と表現しています。

問 要望事項などはこれまで積み上げられており、本年度当初予算に組み込んでみても良かったかと思われすが、緊急の理由は何ですか？

答 要望事項などはこれまで積み上げられており、本年度当初予算に組み込んでみても良かったかと思われすが、緊急の理由は何ですか？

答 新年度になり、市長が出席した地域協議会や交通安全関係の会議、市長直行便などで要望が上がり、何とか緊急にできないか検討したところ、令和5年度の決算が黒字で剰余金が予測され、その剰余金を積み財政調整基金や市民生活安定基金、公共施設長寿命化基金についてもある程度積み立てられていることから、剰余金の一部を使って緊急的なものを実施するよう市長協議で対応を決めました。

事業の内容

- 農道・林道維持修繕
（総事業費8,400万円）
…舗装、側溝、区画線など
- 公共土木施設整備
（総事業費4,600万円）
…市道の側溝、区画線など
- ふるさとかいてき道整備
（総事業費9千万円）
…市道の舗装補修
- 河川緊急浚渫
（総事業費400万円）
…河川堆積土砂の撤去
- 教育環境整備
（総事業費7,200万円）
…学校施設の営繕要望箇所及び突発修繕

請願第11号に関する動議が提出され本会議で可決

請願第11号は、学校給食の調理すべてに「精製塩」ではなく「天然塩」を使用することを求める内容です。

この請願の審査を付託された総務文教委員会では、執行部から聞き取りを行い、現在学校給食で使用されている食塩は、精製塩と天然塩の中間に当たる「再生加工塩」であり、ミネラルが含まれていること、現在の再生加工塩の購入費は年間4万4千円だが、浜田の天然塩にかえた場合は130万円から140万円になり、市外の天然塩にした場合は約10万円だが外国産になること、仮に購入費が増えた場合は給食費で負担することを確認した上で、賛成多数でこの請願を可決すべきものと決定しました。

しかし、その後の本会議で、この請願の継続審査と総務文教委員会への再付託を求める動議が議員から提出されました（提出者：三浦大紀、賛成者：村木勝也）。この請願は今後の学校給食の考え方につながる重要な問題提起であり、更なる事実確認と調査を要するというこの動議が賛成多数で可決されたため、結論を持ち越し、総務文教委員会で引き続き調査を行うこととなりました。

※動議とは、議会の進行や手続きに関して議員から議会に対して行われる提議で、議会の議決が必要なもの。

議案等の賛否の公開

6月定例会議で賛否が分かれた議案および動議は以下のとおりです。各議員の賛否や、請願、陳情審査結果、討論などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和6年6月 ● 定例会議 ● 市長提出議案12件 議会提出議案1件

議案番号など	議案名など	賛成	反対
請願第10号	治和町3-1町内住民利用の主要道路の整備促進に関する請願について	19	1 牛尾
動議	請願第11号 学校給食の自然塩（天然塩）使用の請願について、継続審査、総務文教委員会への再付託を求める動議について	12	8 大谷、村武、小川、布施、岡本、芦谷、永見、田畑

動議

請願第11号 学校給食の自然塩（天然塩）使用の請願について、継続審査、総務文教委員会への再付託を求める動議について

賛成 村木 勝也

賛成 油田 真治

反対 大谷 学

討論とは、会議終了日の表決前に、議案などへの賛成・反対意見を表明することです。

討論



請願・陳情について審査しました 請願4件 陳情9件

請願の内容	提出者	結果など
郷土資料館の建設場所検討に関する請願について	國分 俊幸 三浦 英俊	継続審査
治和町3-1町内住民利用の主要道路の整備促進に関する請願について	治和町3-1町内会 会長 牛尾 修二 関係道路利用住民代表 有田 憲二	採択
学校給食の自然塩（天然塩）使用の請願について	コドモライいわみ浜田 代表 宮田 麗子	継続審査
訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について	島根県自治体労働組合総連合 執行委員長 塩治 隆彦 しまね介護福祉ユニオンBONDS 執行委員長 石田 忍	継続審査

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。
質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。



市政を問う

19人が
個人一般
質問



こちらから動画をご覧ください。



すべての人に健康と福祉を

セーフティネット活動の子ども食堂に支援

A 市として積極的に情報発信やその他支援をしていく。

力支援を求めたいが。

Q 支え合う地域として誰一人取り残さないセーフティネットを張り巡らす活動は大切である。課題の一つに支援が必要なく、ここに届いていない背景がある。広く市民に認知していただき、誰でも参加できる状況づくりに協力支援を求めたいが。

Q 子ども食堂の報道から、浜田市の状況は。
A 開設団体は8団体。食事の提供を行いながら体験活動や多世代の交流の場として活動している。市独自の補助金や他の助成金、情報提供など支援をしている。また事業所やスーパー、農家や個人など食料提供の支援があることは承知している。



岡本 正友

どうする食料安全保障確保への農業政策は

Q 小規模農家は高額な機械購入費用で廃業の岐路にある。支援策は。
A 耕作放棄地阻止のための補助金が必要で、若者には上乗せ制度を考えている。
Q 中規模農家は諸費用の前払いに苦しんでいるし、後継者問題に悪影響がある。対策は。
A J Aに確認したところ、支払いについては相談してほしいとのことだった。また、認定農業者や有機農業で収益アップを目指してほしい。
その他の質問項目
・ 八戸川漁協を支援し、ふるさと納税の資源に
・ 旧周布川漁協立ち上げ
・ 美川小学校避難路問題
・ 訪問介護の基本報酬引き下げ問題を市長会で取り上げてほしい

Q 小規模農家は高額な機械購入費用で廃業の岐路にある。支援策は。
A 耕作放棄地阻止のための補助金が必要で、若者には上乗せ制度を考えている。
Q 中規模農家は諸費用の前払いに苦しんでいるし、後継者問題に悪影響がある。対策は。
A J Aに確認したところ、支払いについては相談してほしいとのことだった。また、認定農業者や有機農業で収益アップを目指してほしい。
その他の質問項目
・ 八戸川漁協を支援し、ふるさと納税の資源に
・ 旧周布川漁協立ち上げ
・ 美川小学校避難路問題
・ 訪問介護の基本報酬引き下げ問題を市長会で取り上げてほしい



牛尾 昭

ひきこもり対策としての積極支援を

Q ひきこもり対策は相談支援などの「待ち」の対応が主体だが先進事例に倣い、案内チラシなどを手に訪問に向く積極支援が必要と思うがどうか。
A ひきこもりの方が自立できるよう自宅訪問や外出同行も行っている。今後必要な支援が受けられるよう推進する。
その他の質問項目
・ 高齢化した農家の支援
・ 遠方の交通事業加算
・ 草刈り報償費加算制度
・ 携帯電話不感地域の対策

Q ひきこもり対策は相談支援などの「待ち」の対応が主体だが先進事例に倣い、案内チラシなどを手に訪問に向く積極支援が必要と思うがどうか。
A ひきこもりの方が自立できるよう自宅訪問や外出同行も行っている。今後必要な支援が受けられるよう推進する。
その他の質問項目
・ 高齢化した農家の支援
・ 遠方の交通事業加算
・ 草刈り報償費加算制度
・ 携帯電話不感地域の対策



佐々木 豊治

すべての人に健康と福祉を

地域医療の崩壊回避は最重点課題！



川神 裕司

【Q】住民の「安心」を担保するための医療体制の整備は重要である。この課題を解決するためにアプローチを考えているか。

【A】まず広域での連携、医療機能分担を進める。また医療従事者の育成が重要で、医療を目指す学生を増やすために小中高校生を対象とした医療教育にも力を入れる。

【Q】浜田准看護学校が令和7年度募集を停止した。西部の重要な医療関係者養成機関であり存続支援が必要ではないか。

【A】准看護師は今後も必要な人材であり、養成施設は県西部としても必要性が高い。医師会と十分協議して検討していく。

（その他の質問項目）

・人口減少対策、自治体DXの課題と推進

周産期グリーンケアの充実を！



村武 まゆみ

【Q】妊娠後、お子様を死産などで亡くされた方の悲しみは計り知れない。当事者に寄り添う意味で、死産届が出た際に、本人の同意を得て総合窓口課から子育て世代包括支援センターに情報共有することができないか。

【A】対応できるように検討していく。

【Q】市の担当職員などが周産期グリーンケアに関する研修を行っているか。

【A】各種支援に必要な研修は受講している。今後周産期グリーンケアに特化した研修があれば積極的に受講していきたい。

（その他の質問項目）

・介護予防の通いの場などの現状把握
・学校や山びこ学級に通えていない児童の把握

新型コロナウイルス感染症対応の検証を教訓に



大谷 学

【Q】5類感染症に移行するまでの状況は？

【A】令和2年9月以降の感染者数は12,501人。

【Q】ワクチン接種対応は？

【A】接種率は県内でも高く円滑に実施できた。

【Q】県大津市は任意接種の観点からホームページに国の厚生科学審議会におけるワクチン副反応検討部会で報告された接種後の重症化率や死亡数を掲載して接種リスクに対する情報も発信。また、接種後の副反応も市民アンケートを実施してその結果を公開していたが？

【A】県大津市の例は次なる感染症対応に向けて参考にした。

（その他の質問項目）

・学校の一斉休校、市民活動、差別・中傷、後遺症対応など

医療センターのPET-CT機器は更新すべき



田畑 敬二

【Q】浜田医療センター設置時にPET-CTを導入した際の支援金額は？

【A】高度医療機器整備の目的で浜田市と島根県でそれぞれ1億円、浜田市社会福祉協議会から3千万円の支援があった。

【Q】PET-CTの更新時期を迎えているが更新の考えは？

【A】更新の考えはない。県東部に4台のPET-CTがある。

【Q】PET検査を受診しようとするれば、県東部かもしれないが県外になるが市民感情は？

【A】今までやっていたことができなくなることは非常に残念に思うが、限られた財源から必要な機器を取捨選択する中で調整されたものであり、納得いただければと思う。



質の高い教育をみんなに

地域に開かれた学校からともにある学校へ

・国民健康保険料の今後
(その他の質問項目)

の役割を想定している。

企画・立案や地域ボラン

ティアの募集・確保など

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。

の役割を想定している。



沖田 真治

子どもたちのために小中学校の環境整備を

いく必要がある。

あると受け止めているの

で、しっかりと取組んで

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。

いく必要がある。



川上 幾雄



働きがいも経済成長も

若手職員の定着を目指して

・防災DXと避難所

交流戦略

浜田市における観光・

トする新たな提案

健康寿命延伸をサポー

(その他の質問項目)

配置を行っている。

にヒアリングや自己申告

書に基づき適材適所への

配置を行っている。

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？

の改善が必要では？



肥後 孝俊

観光は地域活性化の好循環創出に欠かせない

整備に取組む。

は。

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して

のようによりイベント化して



三浦 大紀

産業と技術革新の基盤をつくろう

クロスコンプライアンスとは？

【Q】農林水産省では令和6年度から試行的にクロスコンプライアンス（補助金の受給要件に最低限の環境負荷低減の取組を求める仕組み）を導入する。農業の生産現場ではどのような対応が求められるのか。

【A】環境負荷低減の実践が義務化される。具体的には以下の7項目。

- ①適正な施肥
- ②適正な防除
- ③エネルギーの節減
- ④悪臭・害虫の発生防止
- ⑤廃棄物の抑制・循環利用・適正処分
- ⑥生物多様性への悪影響の防止
- ⑦環境法令の遵守

本格実施後は事業実施年度ごとに、チェックシートなどで報告が必要となる見込みである。



串崎 利行

観光客誘致は地域資源の活用 そして推進体制

【Q】全国では外国人観光客が増えているが、浜田市が低調な理由は。

【A】外国人観光客が増加しない要因は、人気の高い観光周遊ルートから外れているためである。周遊観光ルートづくりを進めたい。

【Q】ふるさと納税返礼品による、浜田市への誘致は。

【A】市では令和4年度から宿泊施設で利用できるクーポンの取り扱いを始め、令和6年度は美肌温泉、食、石見神楽などクーポンの受付を開始した。

【Q】観光推進母体の強化が必要で、観光地域づくり法人への参加の考えは。

【A】観光客を誘致するため、観光連盟では観光消費拡大を目指し、外部人材の活用などにより効果的な誘客施策を進める。



芦谷 英夫

住み続けられるまちづくりを

公園に情報面のバリアフリー化も整備すべき

【Q】情報面のバリアフリー化として、前々から提言している、都市公園などの公園内に放送設備を整備する考えはないか。

【A】東公園などある程度の広さを持つている公園での園内放送設備は必要と考える。これらの公園には野球場などスポーツ施設の既存放送設備があり、この機器を活用できないか検討している。

【Q】スポーツ施設の放送設備は、音が一部にしか届かない。さらに今後は、文字や図を情報として、電子看板や公園内の施設などに配置、AED配置図など、初めて公園に来られた方にも配慮した表示設備が必要ではないか。

【A】今後、既存の表示施設を更新する際に検討する。



村木 勝也

子どもの利益も人権も無視したJR西浜田駅舎

【Q】トイレは撤去され雨風にさらされている。「子どもの最善の利益」に程遠く人権侵害ともいえる状態になった経緯を聞く。

【A】JRのシmpl化に伴う取組である。市はJRにホーム待合室やトイレ設置、十分な広さと風雨を防ぐ対策などを要望したが、結果的に現在の待合室のみとなった。やむを得ずまちづくりセンターのトイレを設置した。

（その他の質問項目）

- ・教職員の働き方改革
- ・運転手確保の補助金



小川 稔宏



住み続けられるまちづくりを

このままでは地域が減退する!!

Q 「バス停まで歩いていけない」「乗車券もすぐなくなる」という声が増えていることへの対策は。

A 自宅から目的地まではドア・ト・ドア、あいのりタクシーについては病院買い物などニーズに応じて活用できる。敬老福祉乗車券は利用者からの意見で昨年に続き令和6年度も5冊引き上げる。

Q 農業資材や金融機関の窓口、商店も縮小、廃止など地域が減退し、ますます過疎化が進むのでは。

A 中山間地域では、金融機関の統合や商店の廃業により、不便さがあると認識している。どこに住んでも、行先や目的などに応じ、出掛けたいときに外出できる、生活に必要な交通手段を維持・確保していけるよう努める。



上野 茂



気候変動に具体的な対策を

「熱中症」は新たな災害!対策に先手を!!

Q 熱中症のリスクが高まる夏場において冷房設備を備えた公共施設を市民の一時的休息所「クーリングシェルター」として開設する考えはないか。

A クーリングシェルターとは熱中症特別警戒情報が発表されたときに、市民が避難できる涼しい場所、市民の安全や健康を守るための熱中症対策として検討していく。

Q 子どもたちの遊びや高齢者の集いにリスクは避けられない。通常の予算枠で対応できない緊急措置としての「夏場対策緊急予算枠」を創設する考えはないか。

A 予算枠を新たに設けるのは、災害のような緊急性のある場合に限られる。現行の予算措置の中で確保する。



西田 清久

安心につながる防災・減災対策を

Q 福祉避難所運営マニュアルについては、3月定例会議の予算審査の際に作成されていないとの答弁だった。作成されていない理由は。

A 受け入れ対象者は、高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児などが想定される。地区防災計画や避難行動要支援者ごとに作成する個別避難計画との整合性も視野に入れ、策定に取り組む。

Q 新たなハザードマップを作成して配布する際には、配布して終わりでは効果が薄いと考える。配布後にまちづくりセンターごとの説明会を実施できないか。

A 令和7年3月の新たなハザードマップ配布時には各種会議での説明後、小さい単位で考える。



柳楽 真智子



陸の豊かさも守ろう

農地維持・後継者確保の道筋は

Q 地域農業を維持するための「地域計画」とは。

A 地域農業の将来の在り方を示した従来の「一人・農地プラン」に、農地一筆ごと10年後の耕作者を示した「目標地図」を添付し、市の公告・縦覧を経て計画策定するもの。

Q 農地維持の対策は。

A 高齢化で個人農家はさらに減少が予想される。兼業農家など個人農家に対して有機米への転換を進め、限られた経営規模の中で収益性を高める営農活動を進めていく。

Q 農家の後継者対策は。

A 農地集積や法人の合併、広域連携の取組を進め収益性を向上させ、農業研修生や今年から取組んでいる地域おこし協力隊などを通じて後継者確保につなげていく。



永見 利久



NEWS 01

浜田市議会石見神楽振興議員連盟の活動の軌跡

市議会議員全員が加盟して石見神楽振興議員連盟が発足して1年が経過しました。令和5年は石見の財産である「日本遺産 石見神楽」を地域の誇りとして守り、世界へ発信するよう活動方針を定め行動しました。その活動方針として「神楽団体の運営支援」「後継者育成支援」「神楽産業の浜田市文化財指定の実現」などの課題について真剣に議論し、各神楽協議会の方々の現場の声に耳を傾けてまいりました。



その結果、令和5年7月には「石見神楽蛇胴」の製作技術が議連としても念願の浜田市文化財指定を受けたところです。その後、本年度予算提案において市長から「石見神楽伝承施設」の提案がありましたが、当議連としては建物ありきの計画ではなく、未来へ向けて伝承すべき内容に関してしっかり議論するためにも専門部署を設置すべきと提案したところ、当議連の意見を反映し「神楽文化伝承室」が誕生しました。現在は当議連と神楽文化伝承室で、石見神楽伝承・情報発信のための議論を毎月実施しています。

また行政視察で浜田市議会を訪問される中国地方以外の議員に対し、議員と市職員が協力して「石見神楽 恵比須」を上演してお迎えしています。大変好評をいただき浜田市の大きなPRとなっています。議連としても浜田市の観光戦略にも引き続き協力していきたいと考えています。

構成員：川神（会長）、西田（副会長）、布施（事務局長）、その他全議員

こどもの権利を考える 議員連盟として シンポジウムに参加

NEWS 02



2月に東京の小金井市で、「地方自治と子ども施策」全国自治体 シンポジウムが開催されました。こども施策のあり方や、こどもにやさしいまちづくりの展望などについて、自治体関係者と研究者・専門家などが集まって情報・意見交換や研修を行う貴重な機会となっています。こどもの権利を考える議員連盟のメンバーも5人参加しました。

後日の振り返りでは、「こどもの権利を考えることは、市民全体の権利を考えること」「主権者教育の考え方を整理する必要がある」など多くの気付きとともに、現状の課題も共有されました。

4月にこども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していこうと「こども基本法」が制定されました。とはいえ周知もまだまだ。制度の強化も必要です。そして、現場では、こどもの声を聞く環境整備を急がなくてははいけません。

現在浜田市では、第三期こども子育て支援事業計画を策定中です。状況を注視しながら、浜田でもこどもまんなかの社会を目指して、引き続き調査研究していきます。

構成員：三浦（会長）、村武（事務局長）、牛尾、小川、柳楽、村木、肥後

市民対談

6月1日に開催された「山陰浜田港どんちっちアジ祭り」の実行委員会の門田委員長と梶野副委員長にお話を伺いました。たくさんの方が関わるイベントに成長した背景には、まちに対する強い思いがありました。

(聞き手：川神裕司、三浦大紀)

魚とまちへの思いから生まれた食の祭典 「山陰浜田港どんちっちアジ祭り」

山陰浜田港どんちっちアジ祭り実行委員会

委員長 門田 秀一さん
副委員長 梶野 恭範さん

仲間との出会いで実現した祭り

——倉庫の前から始まったイベントと伺いました。
門田 僕は魚がとても好きなんです。旬のアジを食べようということでした。仲間を掛けかけたのが5年前。イベントというよりBBQみたいな感じでした。その時の仕入れを梶野さんに相談した

です。やっぱりおいしいんですよ。浜田のアジ。それで、また翌年もどんちっちアジの時期にやろうということになり、3回目からは、少量ですが販売して提供するようになりました。

梶野 最初の時、アジを30匹欲しいと言われて、一般家庭の食卓にあげる量ではありませんから何用なのか気になったんです。楽しいことが好きです。すぐ自分も仲間に入れてとお願いしました。

——規模を大きくしていくイメージがあったのですか？

門田 どうやったら浜田に来てくれる人が増えるだろうかということも頭



地域井戸端会を開催しました

今年も地域井戸端会を5月に市内28カ所で開催しました。昨年に比べ約20%増の延べ235人の方にご参加いただき誠にありがとうございました。当日は、用意したテーマに基づいた意見や自由な意見などを伺い、活発な意見交換ができ、地域への思いや課題を住民と議員が情報共有しました。

会場で伺ったご意見を一部紹介します

地域交通について ～移動の自由をどうつくるか～

- まちづくり委員会であいのりタクシーの予約受付は困難である
- コミュニティワゴンを運行しているが、運行者の担い手が不足
- 交通の問題は高齢者だけでなく高校生など若者にもある
- デマンドバス利用が減っているので検討が必要である
- 福祉バスの拡充、スクールバスの一般乗車を希望する

市の環境施策や環境に配慮した 市民活動の在り方について

- 食品ロスについて市民に推進する必要がある
- 環境教育を積極的に実施してほしい
- 独居高齢者のごみ出しに不安を感じている
- 地域の高齢化人口減少により、草刈りや溝掃除が困難になっている
- 地域の河川清掃活動や環境問題意識向上の取組が必要ではないか

地域産業の問題点と課題について

- 農業の大型機械購入など個人で農業をすることが困難である
- 旭温泉の観光振興、温泉を中心とした住民のまとまりが必要
- 観光協会での案内方法について再検討を希望する
- ゆうひパーク浜田やお魚市場の地元利用を増やす仕組みを検討
- 農業の担い手不足に危機感を感じている

自由意見

- 子どもの遊び場の整備など子育てしやすいまちにしてほしい
- ふれあい広場や運動公園のトイレが汚いので検討してほしい
- 認知症になっても交流できる場があれば支え合えるのではないか
- 水産業について視野を広く持って港の振興を考えてほしい
- 駅前開発について都市計画をしっかりと立て再開発してほしい

参加された方の感想

- 議員に素直に聞いてもらい良かった。少しでも意見が活かされるとうれしい。
- 参加者が増えるようにしてほしい。テーマや広報について検討が必要。
- 体験、年代などでいろいろな意見があり、新たな気づきがあった。この会を継続してほしい。
- 皆さん地域のことを本気で考えておられることが再認識できて良かった。
- 子どもたちが浜田市に興味を持つような家庭にしたいと思った。



委員会でのまとめを、各会場に掲示しています。また、浜田市議会ホームページにも掲載しています。



ぎかいポストに寄せられた意見へ回答



▶ご意見 ごみの分別が多い。

▶対応経過及び結果

日頃、ごみの分別にご協力をいただきありがとうございます。おかげさまで、浜田市のごみの量は減少傾向にあります。

焼却の効率にも影響することから、ごみを減らせるよう、引き続き分別へのご理解をよろしくお願いいたします。
ごみ処理に関する先進自治体の視察も予定しており、適切なごみの分別や処理について引き続き研究していきます。

(福祉環境委員会)

▶ご意見 アパートの家賃が高いです。

▶対応経過及び結果

民間事業者が経営されているアパート賃料は市場原理で成り立っており、議会として賃料への干渉はできません。公営アパートの現状や利用可能な情報が広く発信されるよう、執行部へ申し入れます。

(産業建設委員会)

▶ご意見 スターバックスやCoCo壱などのお店が、もう少しほしいなと思います。

▶対応経過及び結果

市内のお店については委員会でも協議しており、今後も継続して市内のお店が成り立つ方策を検討してまいります。

(産業建設委員会)

全てのご意見・ご要望と回答はホームページ上で公開しています。
各まちづくりセンターに、意見・ご要望用紙を「ぎかいポスト」とともに設置しておりますので
ご投函ください。ウェブからも受け付けております。



令和6年
日時 10月20日(日) 午後2時から

会場 浜田市議会
本会議場(浜田市役所5階)

発言
定員 10人

※応募者多数の場合、初めて申し込まれる方を優先し、抽選を行います。
※詳細は折り込みのチラシをご覧ください。

レポート



総務文教委員会

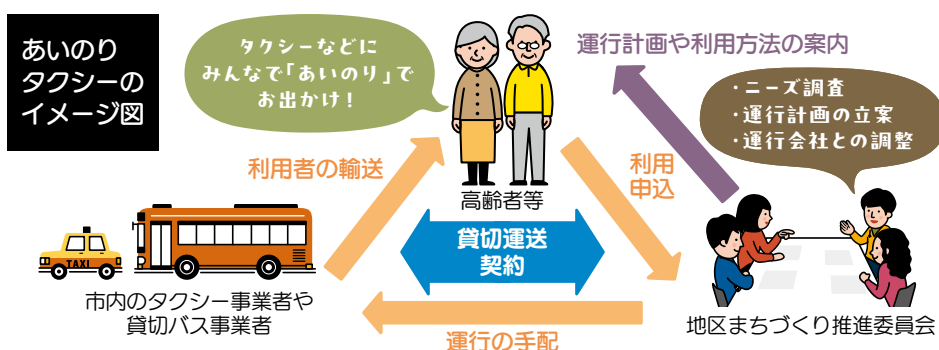
市民生活を支える交通を！

浜田市を走る交通機関は、JR、石見交通バスのほか、市が運行する生活路線バスや予約型乗合タクシー、まちづくり推進委員会によるあいのりタクシー、自治会による輸送などが運行されています。

令和5年度の実績によると、市が運行する生活路線バスは1便当たり1.8人、予約型乗合タクシーは1便当たり1.0人の利用にとどまっており、効率面に課題が見られます。

一方、地域からは交通に対して、運行の便数、日数および時間帯の改善、市街地や益田市・邑南町・川本町など周辺市町へ乗り入れができるように、といった利便性の向上を求める声が寄せられています。

当委員会として、これらの実情や市民の声を受け止め、生活に密着した使いやすい交通となるよう、取組課題として検討してまいります。



福祉環境委員会

環境分野に注力を

当委員会はこれまでの活動を振り返り、環境問題に関する市民の声を広く伺う機会が不足していたのではないかと考えて、5月に実施した地域井戸端会のテーマを「市の環境施策や環境に配慮した市民活動の在り方について」と設定しました。地域井戸端会の各会場にて多くの方から貴重なご意見を頂き、市民の皆さまの環境保全に対する高い関心があることを認識しました。

今後の委員会活動では、寄せられた意見を基により良い環境施策を調査研究し、再生可能エネルギーの活用、廃棄物削減、地域環境保全などの課題に対する実効性のある政策を考え、市に対し提案していきます。

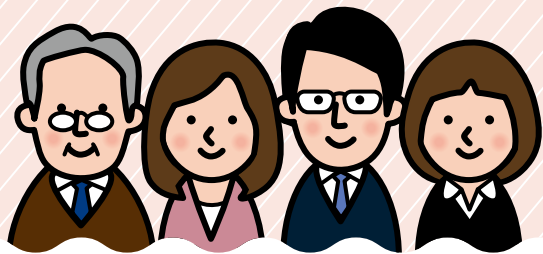
産業建設委員会

鳥取市の道の駅、岡山市の酒蔵を活用した多目的施設を視察

当委員会では、これまでの所管事務調査を補完するために鳥取市の「道の駅 西いなば気楽里」を、三桜酒造跡地にある酒蔵の活用を検討するために岡山市の「かながわSAKAGURA」を視察しました。

道の駅については「まちづくりや観光の拠点」「地域産業との連携」「よその道の駅との差別化」「民間活力による経営」「利益を生み出し地域に還元」などをゆうひパーク浜田に対して求めるべきとまとめ、「どのような組織が運営するのか、運営組織の力量をどのように判断するか」が重要と感じました。

また、三桜酒造跡地検討に対しては「ここに酒蔵が存在しており酒蔵が地域経済の役をなしていたという歴史」「酒蔵という構造物が持つ空間や趣を生かす」「地域のニーズを生かす」などが必要と思うとともに、活かされることを期待します。



委員会活動

議会運営委員会

分かりやすい議会・議員活動を検討

浜田市特別職報酬等審議会の答申を受け、令和6年度から政務活動費が年間24万円に増額となりました。審議会からの付記事項として、議員により執行率に隔たりがあることから、積極的な活用に努めるとともに、対象となる経費や支給要件の検討と、活用を具体的に示すことが求められました。これを受け現在、報告書の改善や四半期ごとの交付も可とすることを決定し、今後も説明責任を果たせる政務活動費の活用を検討してまいります。また、さまざまなことがオンライン化される現状に対応するために、請願・陳情のオンライン提出を認め、受付後の取り扱いについては提出方法（持参・オンライン・郵送）による差を設けないこととしました。今後、取り扱い方法を検討してまいります。

議会広報広聴委員会

浜田市議会の広報について

当委員会では5月に実施した地域井戸端会や10月に開催予定のはまだ市民一日議会などで市民の皆さまからの意見を伺う広聴機能を充実させています。

そして頂いたご意見の内容やその後の経過などを知っていただくためにこの議会だよりの紙面やホームページなどで発信しています。

この冊子は年4回発行し、それ以外の月にはウェブ版の「はまだ議会だよ mini」をホームページに掲載し、よりタイムリーな情報をお届けしています。miniには議員のつぶやきや議長日誌も掲載し、気軽に読んでいただける内容です。miniはウェブ版ですが、まちづくりセンターや郵便局にも掲示しています。ぜひご覧になってください。



議会改革推進特別委員会

議会図書室に「シェアする議会本棚」!?

当特別委員会では、毎月1回以上のペースで複数の議題をもって委員会を開催し、一定期間の調査研究により各検討項目を結論に導いています。

今回は議会図書室の活用について報告します。地方自治法第100条第19項の規定により、浜田市議会に図書室が設置してあります。しかしながら、今までこの図書室の活用がほとんどありませんでした。また図書室の存在もあまり知られていませんでした。

そこで「議会図書室の活用」について調査研究を進め、活用案の一つとして、議員が所有する書籍を勧める理由など一言コメントも添えて図書室に提供し、他の議員も読むことができる取組として「シェアする議会本棚」を開設することとしました。それぞれの議員の興味関心を持つ分野の書籍を共有することで、問題意識が共有され、議員の資質向上につながることを期待します。





議長からのメッセージ

議長の笹田です。今回は、議会に係る手続きのオンライン化の推進とそれに伴う陳情の取り扱いについてお話しします。

令和6年4月1日施行の改正地方自治法により、議会に係るさまざまな手続きをオンラインで行うことが可能となりました。実際にオンラインによる手続き方法を採用する場合には、各議会の会議規則や条例などを改正する必要がありますが、まずは、市民に身近な請願や陳情のオンライン提出について、議会運営委員会で協議いたしました。

陳情の取り扱いは、各議会によって異なっており、浜田市議会では、持参された陳情は委員会に付託し審査します。ただし、浜田市議会陳情書取扱基準に照らし合わせ、陳情内容によっては審査を行わず、議員へ配付するものもあります。一方、郵送された陳情は審査を行わず、担当委員会へ配付する取り扱いとしており、また、オンラインによる提出も認めておらず、提出方法によって取り扱いが異なっていました。

議会運営委員会で協議の結果、多様な住民が議会に関わる機会を広げる観点や議会運営の合理化を図る観点から、オンラインでの請願や陳情の受付も可能とし、かつ、持参・郵送・オンラインといった提出方法に関わらず、全て大切な住民からの要望として、同じように取り扱うこととしました。

今後は、より多くの住民の議会への参画や住民に開かれた議会の実現という視点を大切にして、具体的にどのように取り扱うかをしっかり議論していきます。

9月 定例会議の 予定

- ・ 8月30日(金) 開会
- ・ 9月2日(月)～9月5日(木) 一般質問
ぜひ傍聴にお越しください。

※変更になる場合があります。

次号 (Vol.75) は
11月1日発行予定です。

はまだ議会だより miniも 見てね



8月1日の31号はご覧いただけましたでしょうか。miniは浜田市議会ホームページにウェブ版として掲載していますのでぜひご覧ください。

次号は10月1日に発行予定です。

表紙について

こども美術館の創作室前で目に留まった、アイルランドの児童が描いた作品「フルーツのボウル」。

毎週土・日と祝日の午後にホリデー創作活動が行われています。浜田の楽しい休日の過ごし方ですね。

9月23日(月)まで「海とあそぶアート展」を開催中です。

編集委員

委員長	副委員長	委員
村武まゆみ	村木勝也	肥後孝俊
大谷学	三浦大紀	沖田真治
川上幾雄	上野茂	西田清久
川神裕司		

またたく光を放ち飛び交うホタル。以前は家の中にも飛び込んでいました。このようなホタルが少なくなり自然環境を守りたい気持ちになります。地域井戸端会を開催し延べ235人とこれまでで最も多くの参加がありました。頂いた貴重な意見は、各委員会で協議し、まとめた内容を各会場へ掲示しています。現在、「はまだ市民一日議会」の開催準備を進めています。開催は10月20日(日)、申込み締切り9月9日(月)17時必着です。応募お待ちしています。暮らしとつながる市議会に向け頑張ります。

(記 上野 茂)

あとがき

★この議会だよりは一部当たり49・03円(税込)でできています。